



南魚沼市立ゆきぐに大和病院

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

認知症疾患医療センターだより第2号

朝・晩の冷え込みが日ごとに厳しくなってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。このたび認知症疾患医療センターだより第2号を発行いたしましたのでご笑覧いただけましたら幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

南魚沼市立ゆきぐに大和病院
認知症疾患医療センター
949-7302 新潟県南魚沼市浦佐 4115 番地
電話：025-777-2111（代表）
FAX：025-777-2879（直通）

認知症の基礎知識

新潟県福祉保健部高齢福祉保健課、『若年性認知症の人と家族の支援ブック』、新潟県、2011、2頁-3頁より抜粋

年を重ねるともの忘れが多くなります。顔を思い出しても名前が出てこなかったり、しまい忘れ・置き忘れが増えてきます。これは脳の老化の一つで自然なことです。もの忘れをしていることに自分自身気付いていますし、生活上での支障も全くありません。

年相応のもの忘れと認知症のもの忘れはどのように違うのでしょうか。年相応のもの忘れは、体験の一部を忘れるのに対して、認知症では体験のすべてを忘れます。食事を例にあげれば、食べたメニューを忘れるのと食べたこと自体を忘れるのとの違いです。年相応のもの忘れは、自覚があり、別の機会にひょっこり思い出せますが、認知症のもの忘れは、自覚がなく、思い出せない部分に作り話が混じります。

このため、社会生活が困難になり、日常生活が困難になったりします。

認知症の症状

中核症状：脳の機能が壊れたことによりみられる症状です。

- * 記憶障害
 - ・同じことを何度も言ったり、聞いたりする。
 - ・すぐ前のことを忘れる。
- * 理解・判断力の障害
 - ・考えるスピードが遅くなる。
 - ・新しい器械が使えない。
- * 見当識障害
 - ・時間・場所・季節感がわからなくなる。
 - ・家族のことがわからなくなる。
- * 実行機能障害
 - ・ものごとを順序よく進められない。

周辺症状：「中核症状」に『環境』『身体症状』『本人の性格』等が加わって起こる二次的な症状です。

- * 主な症状
 - ・抑うつ、不安、幻覚、妄想、徘徊、暴力。

代表的な認知症

アルツハイマー型認知症

現在日本でもっとも多い認知症で、脳が萎縮する変性疾患です。

症状…はじめの数年間には記憶障害の症状がみられ、進行すると場所や時間、人物などの認識ができなくなったり、身体機能も低下して動きが不自由になったりします。進行の度合いには個人差があります。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの発作によって脳の血管が詰まったり、破れたりすることによって起こります。自覚症状のない小さな梗塞が起こる「無症候性脳梗塞」によって、本人の知らないうちに発症することもあります。

症状…発症するとまず、知的機能の障害のほか、しびれやマヒ、歩行障害などの身体的な機能の低下が現れます。また、記憶障害はあっても、判断力は保たれているように、脳の損傷を受けている場所によって症状にムラがあることも特徴です。

レビー小体型認知症

異常なたんぱく質が脳の神経細胞内にたまったもので、原因は今のところ十分にわかっていません。

症状…特徴的にあらわれる症状として初期にはもの忘れとともに、具体性のある幻視(ネズミが動き回っている、子どもがベッドの上にいるなど)がみられます。それに伴って、妄想や異常な行動があらわれることもあります。また日や時間帯によって、頭がはっきりしている状態とボーとしている状態が入れ替わり起こるのも特徴です。パーキンソン症状といわれる手足や筋肉のこわばり、動きの鈍さ、小刻み歩行、無表情など、身体症状をきたします。

ピック病

働き盛りの40歳～60歳に多く、脳の前頭葉から側頭葉にかけての部位が萎縮します。

症状…記憶力が保たれているのに人格、性格が極端に変わっていくのです。また意味もなく同じ内容の言葉を繰り返したり同じ行動を繰り返したりする症状もみられます。病識はありません。



Q10 「本人は病院を受診する際、いつも一人で行っています。メモリークリニックも一人で行かせていいですか？」

A * ご本人の普段の様子を知っている人が受診に付き添ってください。

受診の付き添いについて

ご本人だけの受診の場合、普段の様子を正確に医師にお話しすることができなかつたり、医師からの説明がわからない場合等があります。

受診の同席は初診のときだけでなく、再診のときもお願いいたします。ご本人の普段の様子や何にお困りになっているのか等を医師に正確にお話しください

Q11 「大和病院は認知症での入院はできますか？」

A * 当院での入院はできません。入院治療が必要と思われる方については、近隣の入院可能な病院へご紹介いたします。

Q12 「メモリークリニックではどのようなことをしますか？」

A * 鑑別診断（必要に応じて画像検査や神経心理検査を行います）とそれに基づく初期対応を行います。

- ・ 初期診断
- ・ 鑑別診断
- ・ 治療方針の選定

* 合併症、周辺症状への急性期対応を行います。

- ・ 入院治療が必要な場合等には専門医療施設へ紹介いたします。

Q13 「かかりつけの病院があります。そこで認知症も診てもらいたいのですが…」

A * かかりつけ病院での治療のご希望がありましたら遠慮なくお申し出ください。

当院で診断・治療方法の選定を行った後、かかりつけ医での受診を続けていただくことができます。

* 1年に1回程度当院を受診していただくことになります。その後は再びかかりつけの病院での受診が可能です。



講演会開催報告

9月3日(土)、南魚沼市福祉保健部福祉課および当院認知症疾患医療センターとの共催で「平成23年度南魚沼市認知症地域包括支援体制構築のための講演会」を開催し地域の医療・福祉関係者およそ100人弱の方にご出席をいただきました。

講師には、厚生労働省社会援護局障害保健福祉部精神障害保健課の中谷祐貴子先生、群馬大学医学部神経内科の池田正樹先生をお迎えし、ご講演をいただきました。また当センター長でもある宮永和夫ゆきぐに大和院長より、認知症疾患医療センターの役割について報告がありました。



ご相談・お問い合わせ先

❁ 窓 口：南魚沼市立ゆきぐに大和病院認知症疾患医療センター
(地域医療連携室内)

❁ 担 当：田村 洋子

❁ 電話番号：025 - 777-2111 (代表)

❁ 受付時間

❖ 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(日曜・祝日と第3月曜日はお休みです)

❖ 土曜日 9:00～12:00
(土曜日の午後はお休みです)

❁ 相談について

❖ 事前に電話にてお問い合わせください。
相談方法等について説明いたします。

- ①まず代表に☎ください。
- ②「**認知症疾患医療センター**」と
言っていたら当センター

お気軽に連絡を
ください。



Q&Aコーナー ～相談・受診編～



当センターでお受けした相談のなかで大切だと思われるものを選び、Q&A方式でご紹介いたします。今回は認知症疾患医療センターや外来受診についてです。

Q1 「認知症疾患医療センターって何ですか？どこにありますか？話を聞いてもらえるのですか？」

A * 認知症疾患医療センターは、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるための支援の一つとして、厚生労働省の許可を経て都道府県や政令指定都市が指定したもので、新潟県には当院を含めて5か所あります。

- * 当センターは、正面玄関を入れて右手に曲がった奥の地域医療連携室にあります。
- * センターでは認知症に関する様々な相談をお受けしています。

Q2 「センターで話を聞いてもらいたいのですがどのようにしたらよいですか？」

- A * ①相談はお電話でもご来所でもお受けいたします。
- ②まず当センターへ電話にてお問い合わせください。
 - ③当センターへのお問い合わせは、まず025-777-2111(代表)にかけていただけてから「認知症疾患医療センター」と言っていただければつながります。
 - ④専用電話へつながらない場合には、しばらくたってからかけ直してください。
 - ⑤来所相談の場合には、事前に面談日時を決めさせていただきます。
 - ⑥電話相談でもその場でお聴きできない場合は(他の方の相談対応中等の理由により)、日時を決めさせていただきます、改めて時間をとらせていただきます。

Q3 「センターで相談をするときに料金はかかりますか？」

A * センターでの相談は無料です。

Q4 「センターではどんな相談ができるのでしょうか？」

A * 当センターでは認知症に関する様々な相談をお受けしています。H23年5月に当センターが開設してから多くの相談をお受けしていますが、その一部には以下のようなものがあります。

- ・ 受診
- ・ 認知症症状
- ・ 対応方法
- ・ 内服
- ・ 介護保険申請・更新・区分変更
- ・ 介護保険サービス
- ・ 施設申請、施設入所

など

Q5 「誰でも相談をしてよいのでしょうか？」

- A * ご家族やご本人から相談をお受けすることが多いですが、どなたからの相談もお受けいたします。相談の経緯としては以下のようなものがあります。
- ・『南魚沼市立ゆきぐに大和病院だより』をみた。
 - ・『南魚沼市立ゆきぐに大和病院認知症疾患医療センターだより』をみた。
 - ・地域包括支援センターの担当者・担当ケアマネジャーから大和病院にはもの忘れを診てもらえる外来があると聞いた。
 - ・知り合いから話を聞いた。
 - ・かかりつけ医の先生から(他院)、大和病院のことを聞いた。
 - ・大和病院のかかりつけの先生から相談に行くように勧められた。
 - ・センターの前を通ったら「認知症」と見えた。
 - ・診察の順番まで時間があるのでちょっと寄ってみた。

など

Q6 「大和病院でもの忘れを診てもらえますか？」

- A * メモリークリニック(もの忘れ外来)を受診して診てもらうことができます。

Q7 「メモリークリニックを受診したいのですがどのようにしたらいいですか？」

「すぐに受診できますか？」

- A * まず当センターの担当者がもの忘れの状態等のお話をうかがい相談対応いたします。お話をうかがうのは電話でも可能ですが、できる限りご本人・ご家族に直接お会いしたいと思っています。
- * お話をうかがった後、受診日を検討し後日お返事いたします。
 - * メモリークリニックは完全予約制です。受診日までは最低1か月程度はお待ちいただくこととなります(予約状況により異なります)。

Q8 「メモリークリニックを受診させたいのですが本人が受診したくないと言っています」

- A * 受診を拒む場合には無理に説得したり無理強いしないでください。センターの担当者が受診するための相談をお受けいたします。

Q9 「受診の際に用意するもの等がありますか？」

- A * かかりつけの病院が当院以外の場合には紹介状を持参してください。頭部のMRIやCT検査をしている場合はそのコピー(CD-ROM またはフィルム)も持参してください。
- * ご本人の様子や変化をメモに残し、受診時に持参すると診断の参考になります。
 - ┌ いつ頃からどのような症状が出たのか(年月日と状態)。
 - └ 現在も続いている症状や困っていること。

紹介状について

センター担当者が説明いたします。

また、かかりつけ医でなくても「他の病院で認知症を診てもらったことがある」等ありましたら遠慮なく教えてください。